



さくら日和

(校長室より)

令和6年4月8日・10日発行

吉野さくら学園 No.1

校長 山田 真路

令和6年度が始まりました。進級おめでとうございます。小学校入学、中学校入学おめでとうございます。新しい春の門出を、心よりお祝い申し上げます。

私は、4月1日に本校に着任した校長の山田 真路です。本校開校以来2年間、本校で教頭として勤務していました。着任初日、私は、緊張感でいっぱいでした。

大きく息を吸って学校を見まわしてみると、手入れが行き届いた花壇や、プランターに咲きそろう花々、校舎内廊下の掲示物や児童生徒作品の数々、明るさいっぱいのメディアセンターをはじめとする整った教室環境等が、次々と目にとびこんできました。すがすがしい気持ちになり、緊張感がほぐれました。

子どもたちと教員、学校職員はもちろんですが、保護者や地域のボランティアの皆様も一緒になって吉野さくら学園を盛り立てていただいているおかげだと感謝しています。登下校見守り活動等、学校生活全般をサポートしていただいています。地域と共にある吉野さくら学園の学校づくりを、吉中久実校長からしっかりと受け継ぎ、職員一同ですすめていきたいと思ひます。

【今年度の学校教育目標】

教職員一同、精一杯努力して、子どもたちにとって、楽しく充実した一年となるようにがんばります。どうぞよろしくお願ひします。

確かな学力・豊かな人間性・たくましい心身を身につけ、自信と誇りをもって未来に向かって力強く生き抜く子どもを育てる。

○ 本校は小中一貫教育を展開しています。学年段階の区切りを柔軟に設定し、基礎基本事項をはじめとする確かな学力の定着、豊かな人間性の醸成をもとにして、学年を通して、小学校中学校を通して子どもたちの学びをつなげていきます。

本校の魅力ある取組として、いくつか紹介いたします。

まずは、ふるさと教育です。吉野の自然・文化・歴史・産業・人々の生活等から学びます。体験や実習を通して得られる学びから、胸を張ってふるさと吉野を語り、社会を担っていく児童生徒を育てていきます。児童生徒の将来における自立における必要な能力を育成するための、キャリア教育にもつながります。

次に、外国語教育とICT教育です。多様な価値観や文化があふれる社会において、グローバルに活躍できる児童生徒を育てるため、小学校1年生から中学校3年生まで系統的な学習内容、指導内容を設定し取り組んでいきます。

これらのことは学校内において実施する教育課程のなかだけではなく、学校・家庭・地域と連携して学びをつなげていきたいと考えています。これまでも、保護者や各種ボランティアの方々、地域の方々、警察、消防、町役場の皆様から、本校に対するあたたかいご理解とお力添えをいただけてきました。今年度も、どうぞよろしくお願ひいたします。

【学校職員の転出】

- ・吉中久実校長先生： 県義務教育課へ
- ・梅原圭織里先生： かわかみ源流学園へ
- ・岡本美加子給食従業員： 退職
- ・菊谷美和子校務員： 退職

◎ありがとうございました。

【学校職員の転入】

[小学校]

- ・坂田喜昭小学校教頭先生： 吉野中教頭より
- ・南和希先生： 忍海小より
- ・今北吉彦先生： 初任者指導教員として

[中学校]

- ・車谷泰典中学校教頭先生： 吉野中より
- ・黒勇介先生： 下北山中より
- ・田中里佳先生： 新卒
- ・安達尚弘先生： 県立学校より
- ・上明代尚志先生： 初任者指導教員として
- ・谷口尚美 SS： スクールサポーターとして

◎よろしくお願ひします。

【さくら日和について】

吉野さくら学園では、**日**々、**和**を大切にしてお学校生活をすすめています。という意味を込めて、タイトルを「さくら日和」としました。

学年、学級通信や各種連絡とともに、校長室からも学校の様子をお届けできたらと思ひております。

よろしければ、お読みくださいませ。

※裏面に、本年度の職員体制を掲載してあります。